



## 禁煙・分煙推進ポスター

未成年者の喫煙予防と禁煙及び分煙の推進を目的に、小学6年生を対象に「禁煙・分煙推進ポスター」を作成してもらいました。

最優秀賞1点、優秀賞3点、入選10点です。

### ◇入賞作品◇

最優秀賞

小山内和隆さん(中里小6年)



優秀賞

野上 舞衣さん(薄市小6年)



優秀賞

坂田 春乃さん(小泊小6年)



優秀賞

佐藤 奈那さん(武田小6年)



#### ●分煙つてなあに？

分煙とは、タバコを吸える場所と吸えない場所をきちんと分けることを言います。単に空間を仕切るのではなく、喫煙場所から周囲にタバコの煙(有害成分)が漏れないことが第一条件となります。ぜひ家庭でも分煙を徹底しましょう。

#### ●喫煙場所以外で吸わない！

世の中は禁煙社会。大人の喫煙率を見ても喫煙者は5割を下回っています。タバコを吸わない子どもも含めると、世の中には圧倒的にタバコを吸わない人の方が多いのです。

#### 「禁煙」と表示されていない所以外は、喫煙しても良いと勘違いされている喫煙者も多く見られますが、「喫煙場所」以外では喫煙しないことが、喫煙者のマナーです。タバコを吸わない人が不本意にタバコの煙にさらされないこと、それが分煙です。特に子どもや妊婦のいる場所では、絶対に喫煙しないようにしまし

#### ●危険!!妊婦の喫煙

妊娠中の喫煙や受動喫煙は、妊娠中の異常を来たす危険性が高くなります。また、子宮内の胎児にも悪影響を与えます(たばこの煙の毒性物質は、精子、卵子や受精卵の遺伝子を傷つけるとともに、器官形成期の細胞にダメージを与えます)

#### ●タバコの害から子どもを守ろう

発育途中にある子供の脳組織や骨格、呼吸器は、大人よりもタバコの煙に含まれる有害物質によって、重大なダメージを負います。また、大人になっても病気になるやすいと言われています。

#### 危険が高まる病気、障害

呼吸機能低下、急性気管支炎、喘息、髄膜炎、肺炎、中耳炎、乳幼児突然死症候群、将来的な多くの病気

#### ●母乳とタバコ

授乳しているお母さんが、喫煙したり受動喫煙にさらされたりすると、母乳中にニコチンや発ガン物質が分泌されます。タバコの煙に含まれるニコチンやダイオキシン、発ガン物質のベンツピレン等は母乳中に移行しやすく、母乳中では濃縮されて

血液中の濃度より高くなります。ニコチンを含んだ母乳を飲んだ乳児が急性ニコチン中毒症になって吐いたり、下痢をしたり、脈が速くなったりすることがあります。母親は卒業することが大切です。

#### ●だまされてはいけない!!

軽いタバコに...  
軽いタバコは安全だと思って吸っている人が多いと思います。フィルターのところの穴を見てみてください。軽いと言われるタバコほど穴がいっぱいあいています。実は、この穴からニコチンとジェット気流状にして吸うことになり、肺の奥までいきなりニコチンが入っていきます。また軽いタバコでは吸う本数や、吸うピッチが早くなっています。このような吸い方では、ニコチンやタールの摂取量は、喫煙者が考えるほど低下しません。それどころか、一酸化炭素の摂取量はかえって増加してしまいます。そのため肺がんや心筋梗塞の危険性が高くなるのです。軽いタバコであっても、絶対手を出さないことが大事です。

# 中泊119

平成18年11月号

## 小泊保育園避難訓練

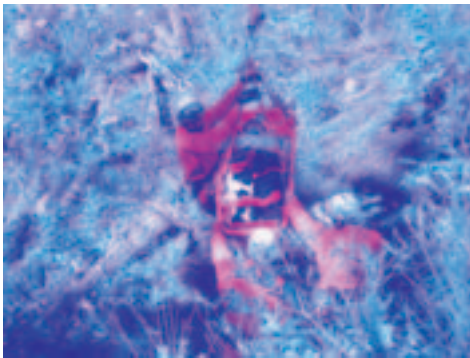
平成18年10月12日に小泊保育園で給食室からの出火という想定で避難訓練が行われました。消火器の使い方や、職場体験学習で訪れていた高校生も参加しての放水訓練などが行なわれ、園児たちも各教室から速やかに避難することができて、もしものときのために真剣に避難訓練に参加していました。



【消火訓練の様子】

## 山岳遭難救助訓練

平成18年10月18日、滝ノ沢旧大導寺牧場跡で山岳遭難救助訓練が実施されました。青森県山岳遭難防止対策協議会五所川原支部の警察、消防、その他各種団体が参加し、参集・搜索・救助技術の向上と、各団体間の連携強化を図ることを目的とし行われました。



【引揚救助訓練】

## 学生による職場体験学習



【職場体験の様子】

平成18年10月4、5日の2日間、小泊中学校の生徒2人が、10月11日、13日の3日間にかけて五所川原農業高等学校の生徒1人が小泊消防署に職場体験学習のため訪れました。職場体験学習は、生徒の職業観・勤労観の育成や学習と職業との関係についての理解、コミュニケーション能力の向上などの目的のために行っています。学習生たちは、放水訓練や心肺蘇生法・車両点検・車両清掃など

火事/救急/救助は  
119番  
五所川原病院照会  
34-4999番  
中里消防署  
57-2370番  
小泊消防署  
64-2375番

率先して仕事をこなし、一生懸命に頑張りました。消防署としても地域に貢献でき、将来を担う若者の育成に力になることができるので、これからも続けていければと思っています。

## この人紹介

今年4月採用で9月22日に青森消防学校消防初任教育の課程を卒業し、中里消防署に勤務となり頑張っています。



「抱負」

消防士 毛内 健晴

この度、4月に消防士として採用になり、半年間の消防学校生活を卒業し、中里消防署に配属されることになりました。

私は救急救命士の免許を取得しており、救急車に乗る事が多いと思います。救急は出勤回数が多いので毎日勉強し、努力したいと思っています。町民のみならず宜しく願います。



## 《暖房器具の安全確認》

これから一段と寒くなり、暖房用のストーブなど火を使う機会が多くなります。使用前に一度点検してみたいかがでしょうか？

煙突、排気口などに、綿ゴミが詰まっていますか？  
ストーブの周りに、洗濯物など燃えやすいものはありますか？

暖房器具の取扱い説明書を読んで、性能を再確認する。  
給油の時は、火を消してから行う。

